

2007年10月15日



各位

会社名 双日株式会社
代表者名 代表取締役社長 加瀬 豊
(コード番号 2768 東証第1部/大証第1部)
問合せ先 広報部長 稲田 隆
電話番号 03 5520 3404

当社子会社(日商エレクトロニクス株式会社)の中間業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である日商エレクトロニクス株式会社(コード番号9865)は、2007年4月26日に公表しました2008年3月期(2007年4月1日～2008年3月31日)の中間業績予想について、添付資料のとおり修正を行いましたのでお知らせいたします。

なお、当社の2008年3月期の中間連結業績は、現在集計作業中ですが、本件は当社の連結業績予想を変更するような影響はありません。

(添付)

日商エレクトロニクス株式会社の開示資料

以上



平成 19 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 日商エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表取締役社長 辻 孝夫
(コード番号 9865 東証第 1 部)
問合せ先 執行役員経理部長 堀江 敏伸
(TEL . 03 - 3544 - 3780)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 26 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の中間期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 20 年 3 月期中間期の業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（ 1 ）中間期連結業績予想数値の修正

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	30,000	750	800	450
今 回 修 正 予 想 (B)	25,300	610	610	480
増 減 額 (B - A)	4,700	140	190	30
増 減 率 (%)	15.7	18.7	23.8	6.7
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期中間期)	29,353	467	576	283

（ 2 ）中間期個別業績予想数値の修正

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	28,000	750	800	470
今 回 修 正 予 想 (B)	22,600	810	910	790
増 減 額 (B - A)	5,400	60	110	320
増 減 率 (%)	19.3	8.0	13.8	68.1
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期中間期)	27,231	646	745	446

2. 修正の理由

(中間期連結業績予想数値の修正)

売上高につきましては、ソリューション/サービス関連部門は、通信キャリア向けビジネスが順調に推移いたしましたが、エンタープライズ向けビジネスは、IT基盤構築に関連するシステムソリューションの提供が低調に推移いたしました。エレクトロニクス関連部門は、CPUビジネスの競争激化やPCメーカーおよび量販店向けハードディスクドライブの販売が減少いたしました。その結果、期初の予想に比べ15.7%減の25,300百万円となる見込みであります。

利益につきましては、保守サービスが堅調に推移していること、高付加価値ビジネスの強化による高収益体質への転換を進めたこと、更には営業効率の改善に努めたことにより引き続き利益率が改善しております。しかしながら、売上高減少の影響および一部の連結子会社の業績が低調に推移したため、期初の予想に比べ営業利益は18.7%減の610百万円、経常利益は23.8%減の610百万円となる見込みであります。中間純利益につきましては、投資有価証券評価損等の特別損失が670百万円発生しましたが、前年度末に減損処理を行いました御殿場研修所兼保養所を売却したことなどにより法人税等調整額が480百万円減少し、期初の予想に比べ6.7%増の480百万円となる見込みであります。

(中間期個別業績予想数値の修正)

売上高につきましては、上述の中間期連結業績予想の修正理由によるものであり、期初の予想に比べ19.3%減の22,600百万円となる見込みであります。

利益につきましては、売上高減少の影響はあるものの保守サービスが堅調に推移していること、高付加価値ビジネスの強化による高収益体質への転換を進めたこと、更には営業効率の改善に努めたことにより引き続き利益率が改善しており、期初の予想に比べ営業利益は8.0%増の810百万円、経常利益は13.8%増の910百万円となる見込みであります。中間純利益につきましては、投資有価証券評価損等の特別損失が600百万円発生しましたが、前年度末に減損処理を行いました御殿場研修所兼保養所を売却したことなどにより法人税等調整額が440百万円減少し、期初の予想に比べ68.1%増の790百万円と大幅に増加する見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現在、算定中であり中間決算発表時(平成19年10月26日予定)に公表する予定であります。

以 上

前述の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。